

2024 年 11 月 18 日

Jトラストグローバル証券株式会社

関係者各位

**JTG 証券、定期的なインカム収益を追求するお客さまに最適な投資先のひとつとなる
ファースト・トラスト社の「カバードコール戦略」を採用した米国 E T F の取扱いを開始！
「DOGG」「SDVD」の米国 E T F 2 銘柄は日本初の取扱い**

JTG 証券（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：矢田耕一）は、米国の NASDAQ 及びシカゴ・オプション取引所（CBOE）に上場する、ファースト・トラスト社の「カバードコール戦略」を採用している米国 ETF7 銘柄の取扱いを開始いたしました。

「カバードコール戦略」とは、原資産を保有しつつ、「コールオプション（買う権利）」を売却することで、一定水準以上の値上がり益を放棄する代わりに得られるプレミアムのインカム収益を追求する、主にプロが採用する運用戦略です。11 月初旬の米大統領選挙でのトランプ氏の勝利や FOMC の追加利下げを受けて楽観ムードとなった米国株式市場は、今後、景気の減速懸念や政策の不透明感などによって変動が激しくなる可能性があります。そのような中で、米国資産の成長は期待しつつ、定期的なインカム収益の獲得を目指されているお客さまにとって、本 ETF は最適な投資先のひとつとなるものと考えております。

JTG 証券は引き続き、商品ラインナップの拡充を通じて、お客さまに多様な投資先と運用機会を提供して参ります。

■新規取扱い銘柄及び「カバードコール戦略」について

★は日本初の取扱い

ティッカー	銘柄名	取引所
DOGG ★	FT Vest ダウの犬 10 ターゲットインカム ETF	CBOE
	「ダウの犬」のカバードコール戦略で、ダウ・ジョーンズ工業株 30 種平均（「DJIA」）の年間配当利回りを約 8%上回ることを目指します。 ※「ダウの犬」とは、ダウ・ジョーンズ工業株 30 種平均（「DJIA」）で年間配当利回りが最も高い 10 銘柄のことです。	
SDVD ★	FT Vest 中小型株増配アチーバーズ ターゲットインカム ETF	CBOE
	中小型株増配アチーバーズのカバードコール戦略で、ラッセル 2000 指数の年間配当利回りを約 8%上回ることを目指します。	
FTHI	ファーストトラスト バイライトインカム ETF	NASDAQ
	米国上場大型株の保有と S&P500 指数コールオプションの売りで、分配金の獲得とキャピタルゲインを狙います。	
FTQI	ファーストトラスト ナスダック バイライトインカム ETF	NASDAQ
	米国上場大型株の保有と NASDAQ100 指数コールオプションの売りで、インカム収益の獲得を狙います。	

IGLD	FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF	CBOE
	安定資産である金の価格リターンを追求しながら、継続的なインカム収益獲得の実現を目指します。	
KNG	FT Vest S&P500 配当貴族 ターゲットインカム ETF	CBOE
	S&P500 配当貴族のカバードコール戦略で、S&P500 指数の年間配当利回りを約 8%上回ることを目指します。	
RDVI	FT Vest 増配アチーブーズ ターゲットインカム ETF	CBOE
	増配アチーブーズのカバードコール戦略で、S&P500 指数の年間配当利回りを約 8%上回ることを目指します。	

運用会社：ファースト・トラスト社（米国）

カバードコール型 ETF 特設ページ：https://www.jtg-sec.co.jp/foreign_equity/coveredcall.htm

※「カバードコール戦略」…原資産に対して 2 つの取引を同時に行う投資手法のことです。

▶株式などの原資産を保有

保有した資産の値上がり益を追求。

▶コールオプション（買う権利）の売り

オプション取引の一種。保有資産にかかる一定水準以上の値上がり益を放棄する対価として、

得られる収入（プレミアム）を定期的な収益（インカム）として受け取れます。

本戦略を採用している本 ETF では、この金融派生商品（オプション）取引を利用し、原資産からの配当金とオプションからのプレミアムのインカム収益によって、高い分配金の提供を実現しております。また、不安定な相場環境においてボラティリティが上昇した際にはプレミアムも増加するため、相場の下落局面ではインカム収益によって原資産の値下がりによる損失を軽減させることができます。

■ファースト・トラスト社とは

ファースト・トラスト社（米国イリノイ州）は、1991 年設立以来 30 年以上にわたり、特徴的なテーマ・セクターETF を多く取り揃える大手 ETF 運用会社です。長期投資をベースに株式や債券の ETF に加え、米国で話題のバッファETF やカバードコール型 ETF を含む 250 本超の多様な ETF を運用しております。

運用資産残高は、2024 年 10 月末時点で 2,452 億米ドル（約 37 兆円、1 ドル＝153 円）になります。また、毎年発表のバロンズ・ベストファンドファミリー・ランキングの株式部門にて、2018 年および 2019 年の 2 年連続 No.1 を記録しました。

事業展開：米国、カナダ、ヨーロッパ、ラテン・アメリカ、日本、イスラエル

ホームページ：<https://www.ftportfolios.jp/>

■お取引にあたってのご留意事項

当社で取扱う商品等へのご投資には、所定の手数料や諸経費をご負担いただく場合があります。また、各商品等には為替や価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。米国株式等のお取引では、株価の変動、為替相場の変動、発行者等の信用状況の悪化等により、損失が生じるおそれがあります。米国株式のお取引には、現地委託取引の場合、約定代金に対し最大 0.880%（最低 1,650 円／税込）の委託手数料および現地諸費用等がかかります。国

店頭取引の場合は、基準価格から所定のスプレッドを考慮して当社が提示する店頭売買価格でお取引いただきます。商品毎に手数料およびリスクは異なりますので、当該商品等の 契約締結前交付書面や目論見書等をよくお読みください。

■カバードコール戦略を利用した E T F の投資リスクについて

カバードコール戦略には、主に以下のようなリスクがあります。

- ・ 原資産の下落リスク: カバードコール戦略では、保有している原資産の価格が下落すると、その分の損失を被ります。原資産の価格が大幅に下落した場合、オプション料で得た利益（プレミアム）を上回る損失が発生する可能性があります。
- ・ 上昇益が限定されるリスク: 原資産に係るコールオプションを売却することで、原資産が上昇した際の利益は権利行使価格までに限定されます。そのため、原資産の価格が権利行使価格を超えて上昇しても、その上昇分の利益の全部を享受することができません。
- ・ 上記のカバードコール戦略を利用した ETF 特有の投資リスク以外の投資リスクとしては、価格変動リスク、信用リスク、為替リスク等があります。詳しくは「上場有価証券等書面」をご確認ください。

■JTG 証券について

JTG 証券は、創業から 60 年を超え、2022 年には J トラスト株式会社（東証スタンダード上場 証券コード：8508）グループの一員として新体制でリスタートした、歴史と革新が共存する証券会社です。

「お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、金融機関として持続的に社会に貢献できる会社を目指す」という理念のもと、外部環境がどのように変化してもその変化に適切に対応し、既成概念にとらわれない質の高いサービスと革新的なアプローチを通じて、お客さまへ新しい付加価値を提供することを使命としています。

「海外投資の JTG 証券」「ベンチャー企業を応援する JTG 証券」「ウェルスマネジメントの JTG 証券」という 3 つのコア領域において付加価値創造に取り組んでまいります。

以上

<この件についてのお問い合わせ>

J トラストグローバル証券株式会社 総務部

電話番号 03-4560-0212

メールアドレス keiei_support@ma.jtg-sec.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

貸金業者登録番号 東京都知事(1)第 31946 号

加入協会:日本証券業協会、日本貸金業協会会員 第 006278 号